

【IPX 等級説明】

IPX0 から IPX8 は、電子機器などの防水性能を示す等級で、数字が大きいほど水に対する耐性が高いことを意味します。

IPX0 から IPX8 の説明表は以下です、

等級	保護内容	説明
IPX0	無保護	水に対する保護がまったくない状態
IPX1	垂直に落ちる水滴に耐える	例: 軽い雨に数分さらされても OK
IPX2	15 度以内の傾斜からの水滴に耐える	少し傾いた状態での水滴にも対応
IPX3	60 度以内の角度からの水しぶきに耐える	斜め方向からの雨や水しぶきに対応
IPX4	全方向からの水しぶきに耐える	どの方向からの水しぶきでも OK (アウトドア向き)
IPX5	弱い噴流水に耐える	シャワー程度の水流に耐えられる
IPX6	強い噴流水に耐える	高圧洗浄機のような水流にも耐える
IPX7	一時的な水没に耐える	水深 1m で 30 分間の水没に耐える (お風呂やプールでの使用を想定)
IPX8	長時間の水没に耐える	メーカーが定めた条件下での継続的な水中使用が可能 (例: 水深 2m で 1 時間など)

💡 ポイント：

ポイント 1

「IPX」とは、防塵性能が未評価または非対象で、防水性能のみを示す場合に使われます。

ポイント 2

IPX7 と IPX8 は「水に沈める」ことを前提とした試験で、水中での使用を想定しています。

ポイント 3

IPX5 や IPX6 は「噴流水」に対する耐性なので、シャワーや雨などに強いです。

ポイント 4

お風呂で使いたいなら IPX7 以上、雨対策なら IPX4～6 が目安になります。